

ガレキやクギでけがしたら、すぐ受診!!

はしょうふう ～ 破傷風をご存知ですか? ～

被災地ではケガや刺傷を負いやすく、小さな傷から時に重大な健康障害を引き起こします。「破傷風」はそのような病気のひとつです。次のポイントに注意しましょう。



1 破傷風の原因は？

- 泥や土の中にいる細菌「破傷風菌」でおこる感染症です。
- この細菌は小さな傷口からでも体内に侵入します。



2 破傷風の症状は？

- この菌は感染すると毒素を出し、毒素で神経障害を起こします。
 - 傷口の違和感、口がしびれる・開きにくい、首の後ろの緊張感などから始まり、やがて全身のけいれんを起こすようになります。
- ※ 手当てが遅れると重症になる場合もあるので注意!



3 破傷風の潜伏期間は？

- 破傷風の潜伏期間（感染してから症状が出るまでの期間）は3日から3週間程度です。迅速な消毒やワクチンが必要です。
 - 傷を負った直後に症状がない場合でも油断は禁物!
- ※ 後片付けの際は、なるべく底の厚い靴を履きましょう。



4 もし、けがをしたら？

- 破傷風菌は空気が嫌い。泥や土、異物を傷の奥まで洗う必要があります。
 - 刺傷など深い傷は医師や看護師に相談し、十分消毒してもらいましょう。
 - 10年以内に破傷風ワクチンを受けているか、確認しましょう。
- ※ 破傷風では、傷を強く圧迫するとより危険です。



5 傷や全身の異常に気付いたら？

- 刺傷の周囲などの腫れや痛みは、速やかに治療を受けることが重要です。
 - 避難中や後片付けの際にケガをしたなど、不安のある方は…
 - 口や顎のけいれん、動かしにくいなどの症状が出たら…
- 医師、看護師、保健師等に相談して下さい。